

学科学年	D 3	科目分類	C言語基礎演習 [C基演] Basic Practice of C Language	演習 必修	前期 1履修単位	学習教育 目標 2	担当	大庭 勝久 OHBA Katsuhisa 出川 智啓 DEGAWA Tomohiro
概要	プログラミングの基礎概念を理解し、初歩的なCプログラミング技術を習得する。 PCでの演習を併用し、実践的な応用力を身に付ける。 授業ごとに、適切な量の演習課題を出し、課題の提出を課する。							
科目目標 (到達目標)	(1) ポインタの概念を理解して、ポインタを用いたデータ参照ができること。 (2) 関数の概念を理解して、ユーザー関数を作成しデータの引渡しができること。 (3) 構造体の概念を理解して、異なる型のデータを一つの集合体として取り扱うことができること。 (4) データ型および型変換について理解し、異なる型のデータを含んだ計算ができること。 (5) C言語の基礎的なプログラミングを習得し、数値演算関数を用いて、初歩的							
教科書 器材等	「入門ソフトウェアシリーズ1 C言語」河西 朝雄 著 (ナツメ社)							
評価の基準と 方法	前期中間試験40%、前期期末試験40%、課題レポート20% として評価する。60%以上を合格とする。							
関連科目	プログラミング入門、C言語応用演習、プログラミング言語Java I・II							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ポインタ1 : ポインタ変数の宣言とデータ参照、ポインタと文字列						
第2回		ポインタ2 : ポインタと一次元配列、ポインタによる配列表現						
第3回		関数1 : 関数とは、局所変数、値による呼び出し						
第4回		関数2 : 参照による呼び出し、一次元配列を渡す、関数プロトタイプ						
第5回		構造体1 : 構造体とは、構造体配列						
第6回		構造体2 : 構造体の一括代入、構造体へのポインタ						
第7回		データ型1 : データ型、共用体、符号付き数と符号なし数、enum型						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		データ型2 : 型変換とキャスト、ゼロ拡張と符号拡張						
第10回		記憶クラス : 記憶クラス、通用範囲						
第11回		変数と初期化 : 静的変数、外部変数、初期化						
第12回		プリ・プロセッサ : プリ・プロセッサとは、マクロ (記号定数)、引数付きマクロ						
第13回		マクロ : マクロと関数、マクロの副作用、数値演算関数						
第14回		ファイル処理 : ファイル処理関数、書式付きファイル入出力 文字列処理関数 : 文字列のコピー、連結、比較						
第15回	×	前期期末試験						
第16回		試験の返却および解説、授業アンケート						
オフィス アワー	授業実施日の15:00~17:00、試験の前1週間は曜日を問わない。							
授業アンケート への対応	学生自身に関して、質問等積極的に解決を目指す行動をとることに課題が残った。課題を期限内に提出できない学生には、個別に質問へ対応するようにしたい。							
備考	授業に関する質問は、ooba@numazu-ct.ac.jpへのメールでも受け付ける。							
更新履歴	20110328新規							